

開成町当初予算のあらまし

2018
おしらせ版増刊号

平成30年度予算名

【未来へ続く懸け橋予算】



平成30年度は、第五次開成町総合計画前期基本計画の最終年度として、将来都市像「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」の実現に向けて、施策を着実に推進するとともに、後期基本計画での更なる町の発展に向けた準備のための予算として編成しました。

全国的にも人口減少・少子高齢化が進む中で、開成町は、人口が増加し続け、子どもの割合も高い状況を維持しています。一方で、高齢化も進んでいることから、人口の年齢構成バランスを意識し、子育て世代を中心とする若年層の定住促進のための取組みを一層進めていきます。

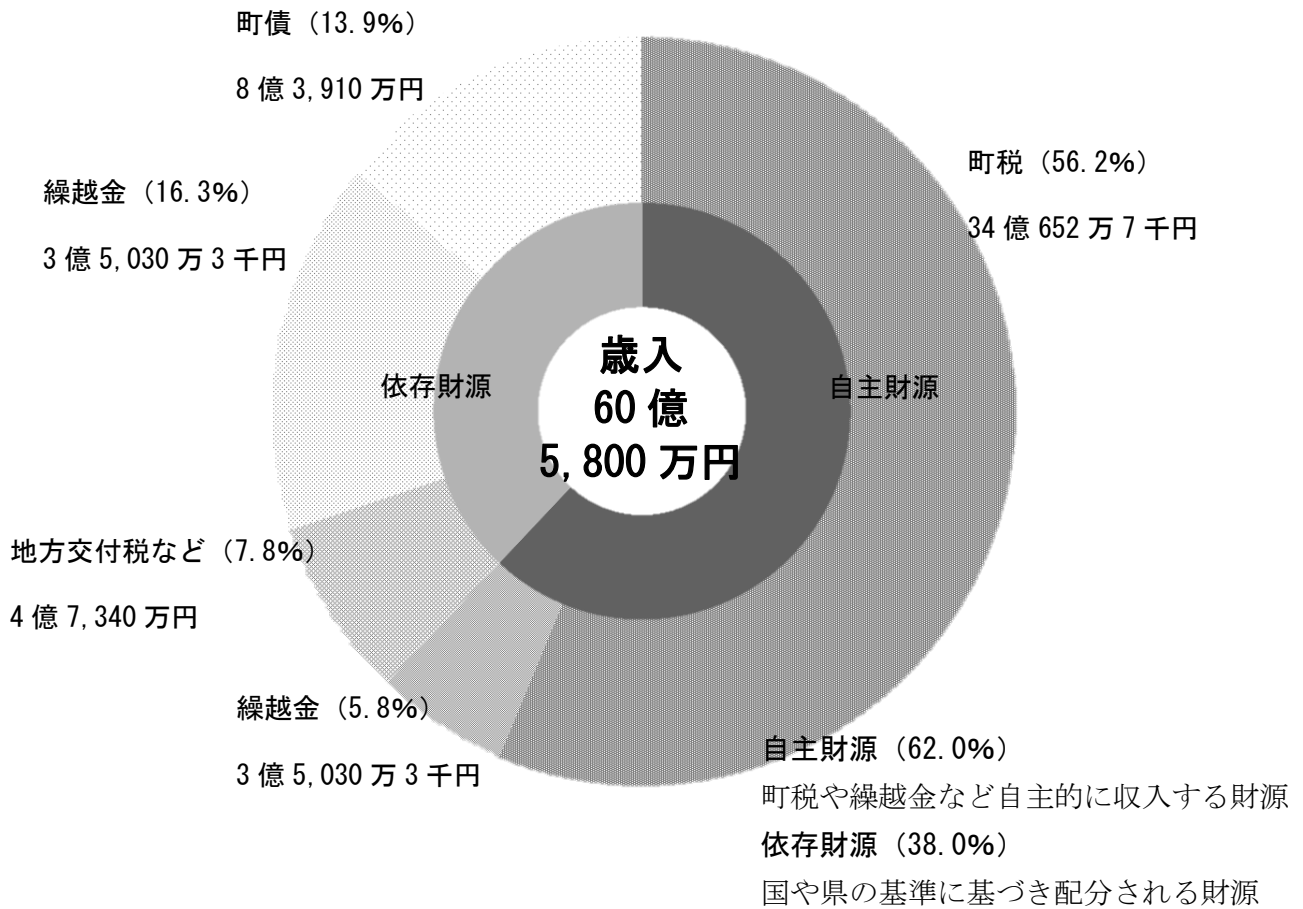
次代の社会を担う子どもたちを安心して産み育てられる環境づくりを目指した「子育て支援・教育環境の更なる充実」、町北部地域の農業振興と交流人口の拡大を目指した「北部地域活性化の推進」、安全・安心の総合防災拠点づくりと町民サービスの向上を目指した「新庁舎整備の推進」の3つの施策に重点を置いて予算を編成しました。

詳細は、町ホームページでも公開しています。

問 財務課 84-0322

1	一般会計		60億5,800万円
2	(1)	国民健康保険特別会計	16億7,347万8千円
	(2)	下水道事業特別会計	6億1,548万5千円
	(3)	介護保険事業特別会計	10億6,956万4千円
	(4)	給食事業特別会計	8,888万円
	(5)	後期高齢者医療事業特別会計	2億1,000万8千円
	計		36億5,741万5千円
3	水道事業会計		5億4,208万5千円
予算総額			102億5,750万円

一般会計歳入



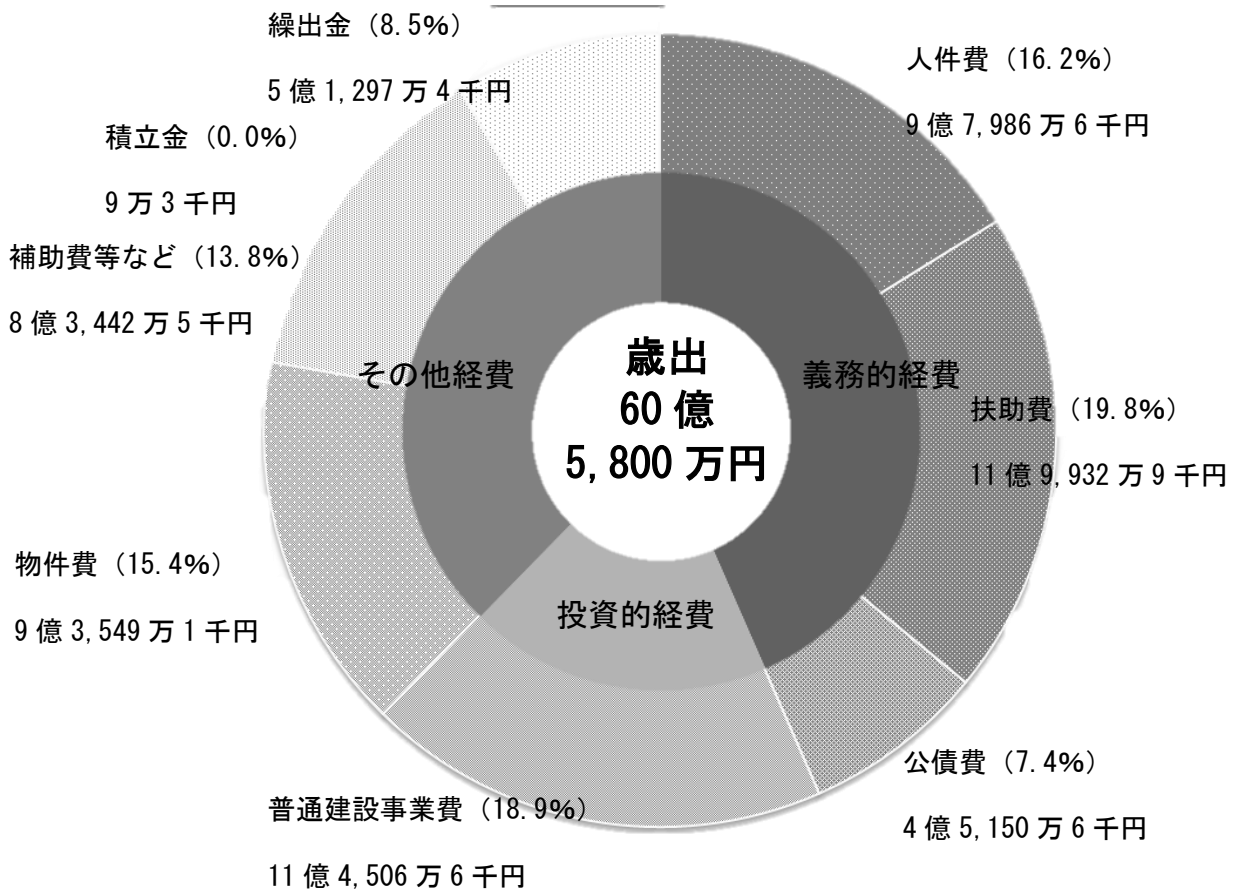
開成町の予算を家計にたとえると

●収入

項目	年間 (単位:千円)	1か月(注1) (単位:円)
給料	34億 652万7千円	28万3,877円
貯金のとりにくずし	3億5,030万3千円	2万9,192円
親からの援助	4億7,340万 円	3万9,450円
	9億8,867万 円	8万2,389円
借金(ローン)	8億3,910万 円	6万9,925円
収入合計	60億5,800万 円	50万4,833円

(注1) 1/1000に置き換えてわかりやすく表現しました。

一般会計歳出



●支出

項目	年間 (単位:千円)	1か月 ^(注1) (単位:円)
食費	9億7,986万6千円	8万1,655円
医療費	11億9,932万9千円	9万9,944円
借金の返済	4億5,105万6千円	3万7,588円
自宅の増改築費	11億4,506万6千円	9万5,422円
光熱水費	9億3,549万1千円	7万7,958円
町内会費 生命保険料	8億3,442万5千円	6万9,535円
貯金	9万3千円	8円
仕送り	5億1,267万4千円	4万2,723円
支出合計	60億5,800万円	50万4,833円

(注1) 1/1000に置き換えてわかりやすく表現しました。



平成 30 年度主な取組み

■ 小児医療費助成の拡大

子どもの医療費にかかる保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりをさらに推進するため、平成 30 年 9 月診療分から、小児医療費助成の対象年齢を中学 3 年生修了までに拡大します。

■ 病児保育事業の開始

保護者が働きながら安心して子育てができる環境づくりを充実させるため、生後 4 か月から小学校 3 年生までの保育園等に通う児童が、病氣中などで集団保育が困難な期間に一時預かりを行う病児保育事業を開始します。この取組みは、足柄上郡 5 町の広域的事業として開成町内の施設において実施する予定です。

■ 放課後児童クラブ（学童保育）の増設

放課後児童クラブの利用者数の増加に対応するため、開成小学校区の放課後児童クラブを増設し、定員の増員を図ります。

■ 付加価値の高い農業への転換の推進

飯米の付加価値向上を図るための開成町産の米のオリジナルパッケージの作成、酒米栽培の研究などを行います。

あわせて農地の流動性を高めるため、農家の経営意向を把握するためのアンケート調査等を実施します。

■ 北部地域の交流拠点施設の整備

北部地域の活性化の拠点施設であるあしがり郷「瀬戸屋敷」の拠点機能を強化するため、交流拠点施設の実施設計を行います。

あわせて駐車場の拡幅に向け、駐車場用地を確保します。

■ 新庁舎建設工事

新庁舎の建設は、耐震性を確保した災害応急活動拠点であるとともに、交流・情報・対面サービスの充実などにより町民サービスの向上を図ります。新庁舎は「環境にやさしい庁舎」をめざし、公共施設として日本初の Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）として整備します。

☆ 第1章 町民主体の自治と協働を進めるまち ☆

1 協働のまちづくり推進事業費（11万円）

協働のまちづくりを進めていくため具体的な指針として策定した開成町協働推進計画の改訂を行います。これまでの取組みの評価・見直しを行い、更なる町民が主役となる協働の取組みを進めます。

2 ブランディング戦略推進事業（324万7千円）

開成町に「住みたい」「住み続けたい」「訪ねたい」という意向を高めることを目的に、町の魅力の向上・発信のための施策を展開します。また、町民団体と連携し、あじさいちゃんのテーマソング「かいせいマーチ」の普及活動等を通じて、町のPRを強化します。

☆ 第2章 未来を担う子どもたちを育むまち ☆

1 放課後児童対策事業費（3,710万2千円）

放課後児童クラブの利用者数の増加に対応するため、開成小学校区の放課後児童クラブを増設し、定員の増員を図ります。

2 子育て支援事業費（3,921万5千円）

保護者が働きながら安心して子育てができる環境づくりを充実させるため、生後4か月から小学校3年生までの保育園等に通う児童が、病期中などで集団保育が困難な期間に一時預かりを行う病児保育事業を開始します。この取組みは、足柄上郡5町の広域的事業として開成町内の施設において実施する予定です。

3 子育て環境充実事業費（300千円）

「協働のまちづくり」に沿って、子育て支援分野において、地域が抱える課題解決や子育て支援に資する自発的かつ自主的な活動に対し、新たに子ども・子育て支援活動助成事業をスタートします。

4 小児医療費助成事業費（7,151万2千円）

子どもの医療費にかかる保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを

さらに推進するため、小児医療費助成の対象を中学校3年生修了までに拡大します。

5 国際理解教育事業費（825万5千円）

平成32年度に全面実施される小学校の次期学習指導要領改訂のポイントの一つとなる外国語教育の充実を図るため、中学校の外国語授業・小学校5・6年生の外国語活動に加え小学校3・4年生の外国語活動にもALT（外国語指導助手）を派遣します。幼稚園・小学校低学年にも外国語・外国文化に親しむ機会を設けます。

☆ 第3章 健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち ☆

1 健康づくり推進事業費（328万2千円）

現在の健康状態や体力等を健康測定機器の利用により確認し、自身の健康管理や体力づくりに取り組むことを目的に開設した、未病見える化コーナーの利用促進を図ります。新たに、骨密度測定や体組成測定などの結果を活用した運動指導を行い、定期的に未病見える化コーナーを利用して自己管理をしていくなど、未病を改善する事業を展開します。

2 保健予防事業費（1,970万7千円）

生活習慣病重症化予防の取組みとして国民健康保険加入者を対象に、特定健診データなどから、重症化の恐れがある方に対して保健指導を行い、自らの食生活などの問題を認識、改善することを促します。

3 開成町シルバー人材センター支援事業費（559万円）

高齢者が働くことを通じて、地域社会づくりに貢献するとともに、健康で生きがいのある生活を実現するために活動している開成町シルバー人材センターの活動を支援します。また、設立30周年を迎えることから、記念事業等についても支援します。

☆ 第4章 安全で安心して暮らせるまち ☆

1 情報伝達体制強化事業費（1,092万1千円）

防災行政無線は電波法令の改正により、現在のアナログ方式での運用が平成34年11月にはできなくなる予定であるため、デジタル方式導入に向けた調査設計を行います。また、地震などの自然災害が頻発していることから、情報をより速やかに伝達できる、全国瞬時警報システム（J-ALERT）の新型受信機を導入します。

2 消防施設整備事業費（1,421万6千円）

消防力の維持・向上のため、消防設備等の点検を行います。消防団の小型動力ポンプ積載車1台を更新します。

☆ 第5章 自然が豊かで環境に配慮するまち ☆

1 新エネルギー導入促進事業費（60万円）

低炭素社会の実現及び地球温暖化防止に寄与するため、住宅の年間の一次エネルギー消費量がゼロとなるゼロエネルギーハウスの導入を引き続き支援します。

2 犬・猫飼育マナー向上事業（35万1千円）

動物愛護の精神を醸成するとともに、飼い主のマナー向上と終生飼養の啓発、また、災害時のペット同行避難等に対応するため、犬のしつけ教室を実施します。

☆ 第6章 都市の機能と景観が調和するまち ☆

1 駅前通り線周辺地区土地区画整理事業費（1,224万9千円）

良好な市街地の形成及びインフラの整備による都市機能の強化を図るため、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業の推進に向け準備をします。本年度は、事業計画・実施計画案、概略想定換地設計を作成します。

2 町道改良事業費（2,343万8千円）

町道を利用する町民の利便性、安全性の向上と、交通の円滑化等、快適な道路環境の実現を図ります。住環境整備計画の道路整備計画に基づき道路改良工事を実施します。

3 町道維持管理事業費（3,991万6千円）

路面性状調査の結果を踏まえ、町道舗装を打ち替えるなど道路維持管理を行い、安全で快適な道路環境の維持を図ります。

また、道路パトロールや自治会、町民からの連絡・要望に対応して道路補修を行います。

☆ 第7章 個性豊かな産業と文化を育成するまち ☆

1 農業活性化推進事業費（208万4千円）

地産地消推進体制の構築に向け、町内産の農作物消費を積極的に行う飲食店や小売店の登録制度を創設し、事業賛同者を紹介するとともに、生産者と商工関係者を直結する仕組みをつくります。また、飯米の付加価値向上のためのパッケージの作成や酒米栽培について研究します。

2 北部地域活性化推進事業費（430万1千円）

開成町北部地域の農業の振興と交流人口の拡大を図るため、あしがり郷「瀬戸屋敷」を拠点とした北部地域の活性化事業を展開します。農業体験プログラムの実施や北部地域の魅力を効率的に外部に発信していくための体制構築、バイオテクノロジーを駆使した研究を行っている吉田島高校と農業・園芸・食品加工の分野での協働を推進します。

3 あしがり郷瀬戸屋敷維持管理事業費（2,383万4千円）

あしがり郷「瀬戸屋敷」の維持管理を行います。敷地内の竹垣の老朽化に伴う修繕工事は、町内の造園業者の指導のもと、ボランティア等を募り修繕を行い、「瀬戸屋敷」への愛着を深めるとともに技能習得を図ります。

4 あしがり郷拠点整備事業費（6,155万3千円）

北部地域の交流・観光の拠点であるあしがり郷「瀬戸屋敷」の機能強化を図るため、駐車場の拡大及び敷地内に新たに整備する交流拠点施設の実施設計を行います

☆ 第8章 効率的な自治体経営を進めるまち ☆

1 総合計画策定事業費（704万1千円）

町民が主役のまちづくりを推進するとともに、自立した自治体として計画的な行財政運営を進めるため、平成31年度から平成36年度までの6年間を計画期間とする第五次開成町総合計画後期基本計画を策定します。

2 庁舎整備事業費（9億2,108万8千円）

新庁舎は、高い耐震性と安全性を確保した防災拠点施設となることはもとより、環境にも積極的に配慮し、公共施設として日本初のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）庁舎として平成31年度の完成を目指します。

また、来庁者及び職員等にとって、快適で機能的なオフィス環境を整備し、町民サービスと事務効率の向上につなげるための調査・研究を進めます。

これまでの予算額

過去〇〇年の町の予算額の推移です。

